

WLBの充実で高齢者や就職氷河期世代の雇用を実現

株式会社松井組は土木建設業として1927年の創業以来、中之島地域とともに成長してきた企業です。

営業範囲を地域に集中し、土木工事のかたわら、春には農地、夏は建設・除草、秋は消雪パイプの修理交換、冬は除雪と、分野にこだわらず多岐に渡る工事を請け負う企業として成長してきました。

社員も地元出身者がほとんどで、農家の兼業・家族の介護や子育て・町内会の取り組み・趣味など、それぞれの事情を受け入れることができる会社でありたいとワークライフバランスの充実を図っています。具体的には、残業時間は

月5時間以内に抑え、週末にしっかりと休むこと。転勤や出張がありません。元請業者ならではのスケジュール管理を徹底しています。何かあった時には相談してもらい個人に合わせた働き方を可能にしてきたことで、高齢者や就職氷河期世代の雇用を実現。人材不足の業界で、女性活躍や外国人雇用といった課題に直面する中、柔軟な体制づくりを目指しているといいます。

国や県の制度を利用し、「イクメン応援宣言企業」として取り組み、男性社員の育児休暇取得を目指すほか、「ながおか働き方プラス応援プロジェクト（通称：はたプラ）」と連携し、過去5回のセミナーを実施。ボトムアップ型の課題解決を行い、良いものは残しつつ新しいことも取り組める社風です。

転勤や残業の多かった前職から転職した古関さんは、同社の仕事は「家族を大切にできる時間が増え、地域に根差したものづくりにやりがいを感じる」といい、色々な経験をしてUターンやIターンを考えた時に、株式会社松井組があることを知ってほしいと話しています。



取材協力：古関 潤様（業務部）

(株)松井組

会社 HP は
こちらから

